

令和 3 年度第 1 回さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会(議事録)

1 開催日時 令和 3 年 7 月 20 日(火) 午後 1 時 30 分開会

2 開催場所 さいたま市役所 地下第 2 会議室

3 出席者 委員

渡邊修(委員長)、安藤幸子(副委員長)、城處満、高後仁、
中野緑

事務局(館岩少年自然の家)

佐藤浩市(所長)、森裕治(所長補佐兼管理係長)、
平野英雄(指導係長)、塚本展寛(指導主事)

4 欠席者 委員

内田宜宏、武田博、鹿角雅子、小田切倫子、渡辺明

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 なし

7 次第

【開会行事】

(1) 委員交代の報告

(2) 委員紹介、事務局紹介(運営委員会委員名簿)

【議題】

(1) 副委員長選出

(2) さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会関連条例、規則等につ
いて

(3) 令和 3 年度少年自然の家利用状況について

(4) 令和 3 年度事業進捗及び今後の事業計画等について

(5) 館岩少年自然の家運営委員会視察について

(6) 令和 3 年度予算について

(7) その他(意見交換等)

【閉会行事】

8 議事等の概要

【開会行事】

- (1) 委員交代の報告
- (2) 委員紹介、事務局紹介

○会議の公開、傍聴人の確認、所長挨拶、委員紹介、事務局紹介、資料の確認、会議の成立

【議題】

- (1) 副委員長選出

副委員長について立候補・推薦発言なし。

事務局案として、副委員長に安藤幸子委員を提案。異議なし承認。

以下、渡邊修委員長が議長として議事進行

○渡邊修委員長あいさつ

- (2) さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会関連条例、規則等について

管理係長

- ・資料①「さいたま市立館岩少年自然の家条例」の説明
- ・資料②「さいたま市立館岩少年自然の家条例施行規則」の説明
- ・資料③「さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会規則」の説明
- ・資料④「さいたま市立館岩少年自然の家附属職員宿舍管理規則」の説明

<質疑なし>

- (3) 令和3年度少年自然の家利用状況について

指導係長

- ・資料⑤「令和3年度館岩少年自然の家の利用状況」の説明

<質疑なし>

- (4) 令和3年度事業進捗及び今後の事業計画等について

指導係長

- ・資料⑥「自然の教室(夏季)実施状況」の説明

<質疑なし>

- (5) 館岩少年自然の家運営委員会視察について

管理係長

- ・資料⑦「令和3年度館岩少年自然の家運営委員会現地視察について」の説明

<質疑なし>

(6) 令和3年度予算について

管理係長

- ・資料⑧「さいたま市立少年自然の家令和3年度歳入予算執行状況（7月現在）」、資料⑨「さいたま市立少年自然の家令和3年度予算歳出執行状況（7月現在）」の説明

<質疑なし>

(7) その他（意見交換等）

<質疑>

高後委員

5月17日、「自然の教室」実施。館岩少年自然の家で感染症対策をしっかりといただいて、子ども達は落ち着いて活動でき喜んで帰ってきた。情報共有の意味も含めて、館岩少年自然の家での感染症対策についてご説明いただきたい。

所長

基本的には学校における感染症対策をそのまま実施していただく、という考えです。ただ、食堂での食事、入浴、部屋での就寝が学校での活動と異なるため、食堂のテーブルへのパーテーションの設置、黙食の声掛け、入浴については、脱衣所の使用ロッカーを制限し、持ち物をビニール袋に入れて持ち歩くこと、通常の半数程度に人数制限をすることを行っている。部屋においては、各ベッド間のパーテーションの設置、通常10人の使用を半数の5人までに制限し、また、健康観察室という広めの部屋を設置し、発熱者の隔離部屋として、保護者の迎えを待つ部屋とした。

渡邊委員長

ボーイスカウト部としても、所属するお子さんから「非常に楽しかった。」
「友達と仲良く自然体験活動に取り組めた。」という声を聞いている。

所長

その他、所報に記載されているものとして、所内各所にディスペンサー、食堂の配膳室前の飛沫防止シート、ソーシャルディスタンスマークの足型掲示、二酸化炭素測定器の設置等が挙げられる。

渡邊委員長

館岩少年自然の家の皆様のご努力を非常に感じる。

安藤副委員長

パーテーションの素材はどのようなものを使用しているのか？また、宿泊棟の換気システムはどのようなになっているのか？

所長

素材はプラスチックで段ボール型の構造になっている。からまつ館には換気

システムがある。とくさ館は時期にもよるが、窓を開けてご対応いただいている。

中野委員

6月中旬に実施。子ども達は充実した活動ができ、非常に教育的活動として有意義だと感じた。新館には部屋に時計がなく、時間を意識して行動できるような環境設備を望む。感染症対策のため例年より各プログラムで時間がかかったようだが、児童の安全確保が最優先。今後もそのように進めていただきたい。

城處委員

今年度予定通り実施できているようで何より。参加できた子とできなかった子がいる両方の気持ちを実感している家庭である。そのような思いをするお子さんが今年はいないということで本当に何より。

渡邊委員長

館岩少年自然の家の感染症対策・活動は、さいたま市ボーイスカウト協議会としても、今後の一つの指針となる。このまま頑張っていただきたい。

【閉会行事】

管理係長

- 所報、たていわ通信について
- 次回の開催の予定について
- 運営委員現地視察について